



2016年 新年のあいさつ



一般社団法人 群馬県介護支援専門員協会 会長 大澤 誠



皆さん、あけましておめでとうございます。年頭に当たり、一言ご挨拶をさせていただきます。会長職を拝命して、初めての新年を迎えました。約半年あまりを振り返りますと、理事をはじめとした皆さまに助けていただくばかりのあわただしい半年でした。しかもその時間は、皆さまにとっても、介護報酬改定直後の激動の時間であったと思います。感謝するばかりです。

また、新たな1年が始まります。今年は申年ですね。申年というのは、大変縁起が良い年です。昔から、病が去る、病に勝るなどと言いましたが、皆さまの仕事においても、当協会の運営においても、昨年に勝ることが出来るように、力を合わせて歩いていきましょう。

さて、今年の3月で、折茂前会長の時から取り組んできた“地域医療再生基金”を活用した事業（地域在宅医療介護連携事業）も終了します。協会としては次年度からも、この事業が継続して発展できるように、県に申請中です。『地域包括ケアシステム』という大きな命題に向けて、私たちのやることは山積していますが、ひとりひとりの力を合わせて、乗り越えて行きたいと思っています。

この新しい年が、皆さんにとってより良い1年になりますよう、心より祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。本年もよろしく申し上げます。



「ケアマネジメント群馬フォーラム XIII」に向けて

大会長 相原 優子

(医療法人育生会 篠塚病院 認知症疾患医療センター 副センター長)

2016年7月10日(日)「ケアマネジメント群馬フォーラム XIII」が、サンピア高崎で行われます。今年度大会の3日前、降ってわいたように次回大会長を打診され、実行委員長の「何もしなくていいから」という言葉を信じてお受けした次第です。今回のテーマは『いかに生き、いかに逝くか』 — “生ききる”を支えるために私たちにできること — となりました。特別講演の講師として、著書「平穏死のすすめ」などでご高名な、石飛幸三先生にお話を伺う予定です。今まで延命至上主義だった医療業界にも変化の波が押し寄せ、「生きることの質」が問われるようになっていきます。一例を挙げれば、「食べられなくなったら胃瘻が当たり前」という医療に「それでいいのか?」と「まった!」がかかった訳です。

私には文化の違いを強く感じた思い出があります。約15年前にアメリカで働いていた時、研究室の秘書さんが休んだのでボスに理由を聞くと、「彼女のお母さんがとうとう食べられなくなったから、自宅で付き添っている」と言いました。病院に入院しないのか?と問うと、「90歳をこえて食べられなくなったから家族に見守られて最後のときを過ごすのに、なんで病院なのか?日本ではそういう時に入院するのか?」と驚かれたのです。「死」というものは、これほどまでに社会での受け止め方が違うのです。

今回のフォーラムで、今の私たち日本人にとっての「生」と「死」をじっくりと考え直してみませんか?多くの方のご参加をお待ちしています。

若手向けケアマネジャー研修会を開催

群馬ケアマネジメント研究会ユースセッション
理事 須田 和也

「若手ケアマネジャー向けの勉強会ができないだろうか?」「特定の地域のみでのケアマネジャーでなく群馬県全県を対象に自分たちが学びたいテーマで勉強会ができないだろうか?」という気持ちから群馬県内若手ケアマネジャー5名を中心に任意団体を立ち上げ、研修会等の企画運営、開催をしています。

勉強会や研修会を開催するためには、運営するための費用なども問題となりましたので群馬県在宅医療総合推進事業の人材育成・連携促進事業という項目で「医療福祉を担う次世代のケアマネジメント人材育成事業」として補助金を活用し開催しています。

11月7日(土)は、高崎市内にて群馬県介護支援専門員協会前会長の折茂賢一郎先生と同協会理事の安藤繁先生をお呼びして、「これまでのケアマネジメント これからのケアマネジメント」～2025年に向けて ケアマネジャーに求められるもの～と題してこれから10年先を担う群馬県内の若手ケアマネジャーに期待することなど貴重なお話を伺うことができました。講演会終了後は、講師のお2人の先生や群馬県内各地域の若手ケアマネジャーの親睦を図ることを目的に懇親会なども行い、親睦を図ったり意見交換を行ったりと大いに盛り上がりました。

研修会終了後のアンケートの一部をご紹介しますと、「今後のケアマネジャーに求められているものが分かったような気がする。」という感想や「長年ケアマネジメントに関わってきた先生方が、次世代に託したいものがとても良く伝わって来て良かったと思います。」という感想、さらに「技術としてのケアマネジメントのところで、いかに声の下を掘り下げられるか、改めて考えさせられ、見直していきたいと思う所です。」というアンケートへの記載もあり、効果的な研修会であったと考えております。

今年度はあと1回の開催を予定し、来年度以降も継続して行こうと考えています。年齢等の制限は特に設けておりませんので「自ら学びたい」という方は是非ご参加頂きたいと思います。

賛助会員事業所様ご紹介（所在地昇順）

～目頃のご支援ご協力に、心から感謝申し上げます～

事業所名	〒	所在地	電話番号
パナケア真中株式会社	370-3531	高崎市足門町 150-1	027-373-5095
藤田ソリューションパートナーズ株式会社	370-0069	高崎市飯塚町 1174 番地 5	027-361-7111
社会福祉法人 希望館 居宅介護支援事業所	370-0046	高崎市江木町 1093-1	027-322-4985
関越中央病院 介護・福祉村 北原の里 ケアマネージステーション「北原の里」	370-3513	高崎市北原町 179-1	027-384-4611
医療法人関越中央病院 地域ケアセンター ケアマネージステーション	370-3513	高崎市北原 29	027-373-4088
高崎市在宅介護支援センター ホビ園	370-0865	高崎市寺尾町 621-1	027-324-8844
たくみ株式会社 アムールタウン高崎	370-0006	高崎市問屋町 1-7-3	027-370-3456
株式会社フレアス フレアス在宅マッサージ	370-0073	高崎市緑町 2-14-4 Msビル 102号	027-370-6775
株式会社 廣川書店	370-0828	高崎市宮元町 46	027-322-4804
株式会社セリオス	370-3521	高崎市棟高町 1802-222	027-310-0170
認定 NPO 法人 じゃんけんぼん	370-3521	高崎市棟高町 954-8	027-350-3191
株式会社 ファーマみらい	100-6610	東京都千代田区丸の内 1-9-2 グラントウキョウ サウスタワー 10階	03-6838-2854
エムシー関東株式会社	326-0065	栃木県足利市西砂原後町 1220	0284-43-1001
日本こども福祉医療専門学校	950-2121	新潟県新潟市西区榎尾 1425 番地	025-261-0346
株式会社 ナカムラ	378-0051	沼田市上原町 1694-1	0278-24-1533
医療法人 大誠会	378-0005	沼田市久屋原町 345-1	0278-23-1231
株式会社 加藤組 八塩温泉湯ざくらケアプランセンター	370-1401	藤岡市鬼石 1029-2	0274-50-8111
株式会社 ヤマシタコーポレーション群馬営業所	371-0811	前橋市朝倉町 3-12-6	027-263-1133
公益社団法人 群馬県老人保健施設協会	371-0026	前橋市大手町 3丁目 9-16	027-233-0350
公益社団法人 群馬県歯科医師会	371-0847	前橋市大友町 1-5-17	027-252-0391
ソネット株式会社	371-0847	前橋市大友町 2-6-1	027-251-4165
関東調理機械株式会社	371-0024	前橋市表町 2丁目 21-7	027-225-5827
介護老人保健施設 群馬老人保健センター 陽光苑	371-0848	前橋市大友町 3-26-8	027-253-3310
一般社団法人 群馬県薬剤師会	371-0013	前橋市西片貝町 5-18-36	027-223-7736
株式会社 ニチイ学館 前橋ヘルスケア事業支店	371-0023	前橋市本町 2-13-11 前橋センタービル 1F	027-210-3153
居宅介護支援 元助	376-0101	みどり市大間々町大間々 1914-5	0277-70-1551
社会福祉法人 ラ・クール 特別養護老人ホーム ながめの郷	376-0102	みどり市大間々町桐原 1511-1	0277-32-5069
社会福祉法人 柏 訪問介護たかつど	376-0113	みどり市大間々町高津戸 998	0277-73-2003
株式会社 おざわ	379-2313	みどり市笠懸町鹿 2532-11	0277-76-7725
☆ 医療法人ふじあく医院 介護老人保健施設ふじあく光荘	373-0034	太田市藤阿久町 345	0276-32-1212

会報 94 号にて事業所様の掲載に誤りがありました（☆印）。

ご迷惑をおかけしました事業所様にお詫びするとともに、訂正したものを再度掲載させていただきます。

「理事会・各委員会の活動報告」

理事会

会長 大澤 誠

県の地域包括支援推進室から依頼の「医療介護連携調整実証事業にかかる退院調整状況調査」についての検討（内容・方法・受託金額等）がありました。病院から地域（在宅）への流れをスムーズにするための対策を練る基礎資料として、実働している県下のケアマネを対象としたアンケート調査です。実効性のある調査にしたいと思っています。

学術研修委員会

学術研修委員長 菅野 圭一

11月27日（金）に学術研修委員会を行い、まずケアマネ受験対策講座2015の反省を行いました。今回、受講者数が半減した原因として、県内の受験者数が3割以上減ったことがあげられました。来年度は、当講座受講後の合格者に対し、入会金無料の特別処置を行うなどのアイデアが出されました。また、来年度からの現認研修に対する当委員会のかかわりについても話し合いました。詳細は次回報告いたします。

広報情報委員会

広報情報委員長 松本 勝美

11月13日（金）に広報情報委員会を開催しました。新年号ですので、会員の皆様が気持ち新たに前向きな一年を送って頂けるような内容にすべく検討をいたしました。今年も会員の皆様へより良い情報が提供できるよう、委員の方々と共に顔晴って行きたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

総務財政委員会

総務財政委員長 高橋 正彦

協会最重要行事であるフォーラム終了をうけて、反省会及び次期大会に向けた検討会議を11月27日（金）20人の参加を得て前橋で行いました。今回の反省をふまえて、次回のフォーラム開催に貴重な意見を頂きました。

師走に入り、各支部とも役員会等を企画しているかと思えます。11月末の協会会員数は1053人で昨年と比べて微増の状況ですので、協会加入に向けてより一層の協力を御願い致します。

桐生・みどり支部

10月29日（木）に桐生市市民文化会館において、第6回桐生市・みどり市医師・介護支援専門員研修会が開催されました。医療法人相生会認知症センター センター長 東邦大学医学部客員教授医学博士の中野正剛先生をお招きして「レビー小体型認知症に纏わる話題提供」と題し講演をしていただきました。難しく感じた部分もありましたが、レビー小体型認知症に対してはご本人様の生活のしにくさを改善することや、医師をはじめとするチームケアが重要だということを教えていただきました。

また一人ケアマネジャーの私にとっては重要な情報交換会でもあり、皆様と楽しむことができました。

(ケアプランぬくもり 大澤 和子)



利根沼田支部

11月27日（金）沼田市保健福祉センターにおいて、利根沼田介護支援専門員連絡協議会研修会が行われました。今回の研修会では「どうなってるの総合事業」と題し、認定NPO法人じゃんけんぽん本部事務局生活支援担当責任者目崎千恵子様、(株)エムダブルエス日高倉賀野事業所所長都丸直樹様をお招きし、県内で取り組んでいる地域での現状報告や意見交換が行われました。

そこでは「地域を丸ごとケアできるか」「認知症の予防や早期発見ができるか」「介護認定を先延ばしにできるか」などが大きな課題となり、先駆的な事業所の具体的な活動状況をお聞きし、支えられている立場が担い手になっている事も知りました。

今後、ケアプランの中に可能な限りの社会資源を入れていくことが地域での支援に繋がるのではないかと。それにより介護保険の隙間を埋めていくような関係がスムーズにできれば良いと思います。

新たに始まった地域包括ケアへの取り組みを伺い、利根沼田でも平成29年度から始まる総合事業への焦りを感じました。先駆的な自治体では人口も多く、多種多様な方々が生活しています。事業への理解が得られれば調整も可能に見えますが、利根沼田地域の山間部ではどのような事が可能なのかも課題だと思われます。

(輝城会重度介護支援センター 斉藤寿子)

太田支部

10月22日(木)に太田市社会教育総合センターにて、太田支部の研修を開催いたしました。「ケアマネが知っておくべき高齢者の口腔ケア」のテーマで、太田市 しのぎき歯科医院 院長 篠崎広治先生に講話を頂きました。

内容は、訪問歯科診療についてと歯科医との連携についての説明を主に、先生のユーモアあふれるトークで、参加したケアマネジャーも和みながら良い研修が行えたと思います。

普段ケアマネジャーとして、高齢者の方と接するときに、なかなか口腔内までは見ることが出来ないと思います。口腔ケアについても、肺炎やその他の疾患に結びつく要因となるため必要なケアの1つだと多くのケアマネジャーは認識していたと思いますが、具体的に、どのような原因で感染症等に結びつくか、予防方法や改善方法等について、私自身は認識不足でした。

先生から普段高齢者の方と接するときに、歯茎部分の色で健康であるか・悪いのであるかの見分けがつかないと教えて頂きました。又、高齢者は、義歯をされている方が多いと思います。部分義歯か総義歯かにもよりますが、義歯の寿命は2~3年であり、高齢になると口の周りの筋力の低下や体重の減少等により、義歯が合わなくなるケースが多く、義歯になる前に、定期的な歯の状況について歯科医への受診が重要であると説明を受けました。

歯科医との連携についても、ケアマネジャーと連携を密にしていきたいと言って頂き、ケアマネジャーとしては、口腔のことで悩んでいる高齢者に少しでも専門的な助言や治療に結びつく対応が図れると感じました。今回学んだことを参加できなかったケアマネジャーにも説明していきたい、より良いマネジメントが行えればと思います。

(居宅介護支援事業所 親孝行の里 金子 徹)



11月14日(土) 太田市九合行政センターにおいて、太田市・太田市介護保険事業者協議会・群馬県介護支援専門員協会太田支部主催のもと、介護の日特別講座が開催されました。

緩和ケア診療所いっぽの萬田緑平先生をお招きし「最期まで目一杯生きる」と題した講演をしていただきました。萬田先生の講演はご存知の方も多いかと思いますが、先生が支援して来られた患者さんやご家族の生の声が紹介されます。スクリーンに映し出される患者さんは、病気と闘いながらもどこか朗らかで、どこか安心しているように見えました。萬田先生をはじめとする支援者を信頼している様子がうかがえます。

人生の最後を思い出のつまった自宅で過ごし、家族や関係者に囲まれながら生を全うされる患者さんは自身も幸せかと思いますが、周囲の人にも幸せを与えています。

私たちケアマネジャーは幸いにも患者さんに寄り添い、希望に沿った支援をさせていただける立場にあります。

今回の講演をお聞きし、患者さんの幸せとは何かということを改めて考える機会を与えていただきました。



(ケアサービス綿打 竹内宗之祐)

特別講演会のご案内

群馬県介護支援専門員協会会長 大澤 誠

地域包括ケアシステムの確立が各地域において焦眉の急となっていますが、なかなかその姿をイメージすることが出来ません。全国では先進地域があり、その紹介がされていますが、それを自分たちの地域に当てはめようとしてもピンと来ない。

そこで、地域包括ケアの理論家で一橋大学の社会学者である猪飼周平さんと、在宅医療の実践家で全国在宅療養支援診療所連絡会の事務局長である太田秀樹さんの対談を企画しました。市民・介護支援専門員（ケアマネジャー）・医師・行政職等にとって、今一度自分たちにとっての『地域包括ケアシステム』のあり方を見つめ直す良い機会であると思います。是非、多くの方々がご参加くださいますよう、ご案内いたします。

「太田秀樹・猪飼周平対談：地域包括ケアを考える集い」

（群馬県介護支援専門員協会・群馬県医師会・群馬県在宅療養支援診療所連絡会 共催予定）

日 時：平成28年2月6日、18:00～20:00

開催場所：高崎シティギャラリー・コアホール

高崎市高松町35番地1 TEL 027-328-5050

申し込み：群馬県社会福祉協議会

TEL 027-255-6226 FAX 027-255-6444

締め切り：平成28年1月30日（土）定員324名

事務局からのお知らせ

会員登録に変更のある方へ（お願い）

住所変更・勤務先変更等のある方は変更届のご提出をお願いいたします。

提出いただけない場合には、郵便物等お届けできなくなってしまいます。

変更届・入会申込書・退会届につきましては、本会ホームページより《事務局から→変更届（こちらから）・退会届（こちらから）》からダウンロードしていただき、必要事項を記入しFAX送信していただくか、本会事務局までお問い合わせください。

一社）群馬県介護支援専門員協会事務局（群馬県社会福祉協議会 地域福祉課内）

TEL 027-255-6226 FAX 027-255-6444

事務担当 新井

編集 後記

昨年も新年号を担当し、一年の抱負を書かせて頂きました。今年こそ実現できればと思います。余談ですが、12月31日生まれの私にとって、昨日・今日、去年・今年の話がごちゃごちゃしがちです。仕事や役割くらいは整理がつくようになりたいものです。

今年も皆様にとって良い年でありますように（KN）